

目次

- セミナー 主要3社に聞く！仮想化技術者人財育成セミナー申込み受付中
- キャンペーン CCENT、CCNA、CCNP対象コース受講で、1コース無料受講！
- トピック Inst. Tech View ～第10回“SRX サービスゲートウェイ”～
- コラム スーパーエンジニアの独り言 第8回“記憶の倉庫”

セ | ミ | ナ | ー |

◆◇ 主要3社に聞く！ 仮想化技術者人財育成セミナー ◇◆

仮想化技術全盛の時代において、人財育成とはどうあるべきか、今後の技術者に求められる仮想化技術とは何か、技術者に有益なスキルパスとは、等々を仮想化製品主要3社と鋭い視点で知られる@IT副編集長西村賢氏を招き、講演とパネルディスカッションを展開します。今後の仮想化ビジネスと人財育成の参考にしてください。

開催日：2012年3月8日（木） 14:00 - 17:30 （13:30 受付開始）
 会場：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社2階 セミナールーム（駒沢）
<http://www.school.ctc-g.co.jp/map/komazawa.html>
 定員：50名（参加無料）
 申込み：<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=639&m=7808&v=79f20c69>
 共催：CTCテクノロジー株式会社
 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
 対象：ユーザー企業における人財育成担当者、仮想化関連技術部門担当者
 お問い合わせ CTCテクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部
 TEL：0120-667230

【第1部（14:00-14:40）】

「VMwareの仮想化人材育成コースと認定資格」
 講師：VUEMウェア株式会社 西井 篤 様
 内容：VMware認定コース及び認定資格の有効性について解説いたします。

【第2部（14:40-15:20）】

「PCの時代からクラウドの時代への変換期をリードする技術者育成のために」
 モバイルワークスタイルとクラウドを実現するシトリックスの技術と今後の展望
 講師：シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社 藤野 智宏 様
 内容：最近の仮想化ソリューション導入事例のご紹介を交えて、顧客ニーズはどのように変化し、今後のトレンドはどうなるのか。また、それらの構築に必要な仮想化技術者の育成について、教育プログラムや資格体系も含めて解説します。

【第3部（15:25-16:05）】

「仮想化市場と今後の技術トレンド」
 講師：日本マイクロソフト株式会社 高石 雅人 様
 内容：顧客の仮想化に関するニーズの変化と、今後の仮想化市場について解説を行います。また、Microsoftの提供する製品群と教育コース及び認定資格についてご説明します。

【第4部（16:05-16:25）】

「仮想ルータ・仮想ファイアウォール」コースの紹介
 講師：CTCテクノロジー エデュケーションサービス部 林田 圭史
 内容：今後の仮想化技術のトレンドとなり得る、仮想アプライアンスに関する弊社オリジナルトレーニングをご紹介します。

【第5部（16:30-17:30）】

パネルディスカッション「IT教育における仮想化技術者の育成について」
 ～各社の認定資格の有効性とは～
 パネラー：VUEMウェア株式会社、日本マイクロソフト株式会社
 シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社、CTCテクノロジー株式会社
 ページ(1)

モデレーター：@IT 副編集長 西村 賢様

申込み：<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=639&m=7808&v=79f20c69>

キ | ヤ | ン | ペ | ー | ン |

◆◇ CCENT、CCNA、CCNP対象コース受講でもれなく1コース無料受講！ ◇◆

2012年3月末日まで期間限定 無料受講キャンペーン実施中！
好評につき、キャンペーン対象コースをCCNA対応コースにも拡大しました。

対象のコースを受講いただくと、以下のコースが期間限定で無料受講できます。

1. 仮想化概要
2. 仮想ルータ・仮想ファイアウォールファーストステップ
3. クラウドコンピューティング概要
4. IPv6インフラ構築入門
5. VoIP 基礎 (Voice over IP)

無料コースは申込者本人でなくとも受講できますので、同僚の方や上司の方、ご興味のある方にお声がけのうえ、この機会に是非ご利用ください。

キャンペーン対象トレーニング：Cisco CCENT/CCNA/CCNPコース
詳しくはこちら <http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=640&m=7808&v=e48aa958>

キャンペーンについての問い合わせ
CTCテクノロジー・ラーニングセンター事務局
TEL：0120-667230
FAX：0120-667235
E-mail：kyouiku@ctc-g.co.jp

ト | ピ | ッ | ク |

◆ 『 Inst. Tech View 第10回 “SRXシリーズ サービスゲートウェイ” 』 ◆

今回のInst. Tech Viewは、2009年に発売が開始されたJuniper Networksのサービスゲートウェイ「SRX」を紹介します。

Juniper Networksと言えば、ネットワークの巨人Cisco Systemsとライバル関係にあるネットワーク機器ベンダーとして有名で、ハイエンドルータとセキュリティ製品を主力商品として販売してきました。Juniper Networksが販売するハイエンドルータは自社開発製品のため、Juniper Networksが誇るOS「JUNOS」を発売当初から搭載しています。

しかし、Juniper Networksのセキュリティ製品として有名なNetScreen/SSGは元々、NetScreen Technologiesの製品だったため、NetScreen/SSGのOSにはNetScreen Technologiesが開発したOS「ScreenOS」が搭載されています。そのためJuniper Networksの製品を扱うエンジニアは、ルータ製品を操作する際はJUNOSのコマンド、セキュリティ製品を操作する際はScreenOSのコマンドと2つのコマンド体系を理解する必要があり、エンジニアにとって負担となっていました。そこで、Juniper NetworksはNetScreen/SSGと同等の機能を持ちながら、JUNOSを搭載したデバイスを開発しました。それがサービスゲートウェイ「SRX」です。

SRXは、NetScreen/SSGで培われたFirewallやVPNの機能とJUNOSで培われたルーティングやスイッチングの機能の両方のデバイスの長所を持ち、さらに業界トップクラスのパフォーマンスも発揮します。今後、SRXの新規導入はもちろんのこと、SSGをFirewallやVPNデバイスとして使用していた環境でのSRXへの置き換えが進んでいくと予想されます。今までNetScreen/SSGでScreenOSの操作に慣れていた方は、SRXのJUNOSコマンドとなると最初は戸惑うのではないのでしょうか。

そこでCTCテクノロジーでは、SRXの基本操作からポリシーやIPsec、クラスタの設定までSRXを導入・運用するために必要な操作方法を3日間で習得する研修

「JSEC」を提供しています。

SRXを扱うコース「JSEC」の詳細はこちら
 JSEC (JUNOS for Security Platforms) ~はじめてのSRX (JUNOS Security) ~
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=641&m=7808&v=65afcc7f>

また、ScreenOSが未経験な方に対しても、NetScreen/SSGの基本操作からポリシーやIPsecの設定までNetScreen/SSGを導入・運用するために必要な操作方法を3日間で紹介する研修「CJFV」も提供しています。

NetScreen/SSGを扱うコース「CJFV」の詳細はこちら
 CJFV (Configuring Juniper Networks Firewall/IPsec VPN Products)
 ~NetScreen/SSGシリーズによるFirewall/VPN環境の実装~
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=642&m=7808&v=3db16557>

SSG・SRXの両方に精通した講師が研修を提供しております。
 皆様のご受講を心よりお待ちしております。

コ | ラ | ム |

◆◇ 『スーパーエンジニアの独り言 第8回 “記憶の倉庫”』 ◇◆

今回の話題は、「記憶の置き場所」についてです。

スティーブンキングの小説で映画化された代表作と云えば「キャリー」や名匠スタンリーキューブリックが監督した「シャイニング」という名作が挙げられることでしょう。しかしながら原作者であるスティーブンキングがこのキューブリック作品を気に入らなくて、自ら監督し映像化したのは有名な話ですが、それと対照的にスティーブンキングが自身の原作を映像化した作品でとても気に入っているのが「ドリームキャッチャー」という映画です。

原作はスティーブンキングの複数のテイストを一緒に盛り込んだものであり、映画のシナリオも「スタンドバイミー」+「幻魔対戦」+「ヒドウン」を混在させた内容です。古びた洋館の裏でいじめられていた「ダディッツ」を四人の少年が助けることから話が始まるのですが、その「ダディッツ」が実は善玉の地球外生命体であり、彼の命を賭して少年達にそれぞれ超能力を授けます。これはスクービードゥ（四人と一匹）の如く編成し、来るべき将来、つまり何十年後にやってくる悪玉の侵略者「ミスターグレイ」の脅威に対抗するための備えだったのです。

四人のうちの一人が授かった能力に「記憶の倉庫」"Memory Warehouse" があります。彼（ジョンジー）がその能力を持つことでインベーターに体に乗っ取られても記憶（情報）を隔離することで侵略者に立ち向かえるのです。実は交通事故がきっかけでこの能力を得るのですが... という話でファンでさえ賛否両論ある映画ですが、もし興味が湧きましたら本編を御覧ください。

映画の中で「記憶の倉庫」を表現した映像が筆者にはとても印象に残りました。大きな螺旋状の回廊の両側に沢山の部屋があり、部屋のドアにはどの「記憶（情報）」が格納されているかの名札が貼られています。まるで「薔薇の名前」に登場した秘密の書庫を彷彿とさせます。その頭の中にある倉庫の回廊を自身が投影された人物が手押し車で情報を運び、それぞれの記憶の部屋に分けてしまっている姿が幻想的でありながらも、その書類をしまったり、取り出したり、燃やしたりという行為が、どのように記憶を思い出したり、消したりしているのかを想像させます。

「記憶の倉庫」が上手く機能しない場合に、良いサービスがあります。有名なクラウドサービスである「Evernote」のコンセプトは、「第二の脳」もしくは「補助脳」と称しています。気になった事象や思いついたアイディアなどをメモ帳に片っ端から書き留め、後でそれが必要に応じて探し出すという使い方です。自分の脳で記憶にしまえなかった事や何処に置いたか分からなくなった時に重宝します。

記憶装置そのものにも変革期がやってきています。

半導体メモリを採用し高速ストレージを実現したFlash SSDは、省電力と可動装置がないことから耐障害性という副次的効果もあり、既に多数の可搬型デバ
 ページ (3)

イスで採用されています。このシリコンディスクは、従来よりも高速であるため、様々なレイヤーでのキャッシュ用途としても採用されています。最近では、AWSの新サービスであるAmazon DynamoDBでSSDが大量採用され高速で伸縮性に優れたサービスを発表しています。Fusion-ioやEMCでもストレージデバイスとしてのフラッシュストレージを発表しており、サーバ内蔵型にすることでストレージインターフェースによるボトルネックを回避し飛躍的な性能向上を果たしているとの事です。

更に最新のニュースによれば、このFlash SSDを背景に驚異的な性能を実現する技術の気配があります。“Auto Commit Memory”という名前からそれを想像できますが、利用者はメモリを操作するだけで二次記憶装置を必要としなくなるかもしれませんが、つまりハードディスクが要らなくなるという事です。どのように実現するのかは未だ憶測が飛び交っていますが、もし実現すればハードウェアだけではなくソフトウェアも様変わりすることを余儀なくされるでしょう。何せ保存する処理が要らなくなってしまうのですから。

安定期かとも思われたメモリやストレージ市場ですが、新技術の到来で新プロダクト登場やその利用方法に於いても世代交代が進みそうです。そして「データが重要」というのは、Web 2.0の教訓でもありました。
“Data is the Next Intel Inside.”
そして今やビッグデータの波が企業に押し寄せています。

ドリームキャッチャーでは、「記憶の倉庫」の中でどうしても捨てられない記憶の一つに「ブルーバイユー “Blue Bayou”」の歌詞がありました。
この大切な思い出は、鍵の掛かった秘密の部屋にファイリングされていました。

記憶は人を形成するのに極めて大事な要素です。
人は当然持っている記憶によって「その人」として成り立つのですから。
では次回をお楽しみに。

関連コースの詳細情報はこちら：

「ストレージ基礎」関連コース
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=643&m=7808&v=bc940070>

「クラウド・仮想化 基礎／入門」関連コース
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=644&m=7808&v=8d8c3707>

■お問合せ・ご意見・ご感想は◆CTC教育サービス◆窓口まで
シーティーシー・テクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部
E-Mail : kyouiku@ctc-g.co.jp / TEL : 03-5712-8701

-
- 外部委託について
弊社はメールニュース配信業務をシーティーシー・ビジネスサービス株式会社（CTC100%出資子会社）に委託しております。
 - 本メールマガジン編集・配信責任者
CTC エデュケーションサービス部 部長 篠原 義一
所在地：東京都世田谷区駒沢1-16-7 ctc_edu_mail@ctc-g.co.jp
 - 個人情報保護方針
CTCグループの個人情報保護方針につきましては下記URLをご参照ください。
http://www.ctc-g.co.jp/guide/security_policy.html?top=b_security
 - 配信中止及びお問合せ対応について
 - ・「CTC教育サービス News&Topics」の配信が不要な場合には、下記URLから配信停止のお手続きを行ってください。
<https://krs.bz/ctc-g/m/ctc-education>
 - ・当社では、複数種類のメールマガジンやメールニュースを発行しております。大変お手数ではございますが、CTC教育サービス以外からのメール配信についての受信拒否および個人情報に関するご要求は、各メールに記載の個々の連絡先宛にそれぞれご連絡をお願いします。
 - ・受信者ご本人様からの個人情報の開示・訂正・削除に関するご要求は、随時 ctc_edu_mail@ctc-g.co.jpにてお受けいたします。
-